

労働安全衛生マネジメントシステム

より組織的な労働安全衛生を目指して

TOAグループの安全に関する取組みは、「安全をすべてに優先させる」を基本理念として、安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境を形成して社会に貢献することをモットーに、グループが一丸となって推進しています。

■労働安全衛生方針

建設業における労働災害は長期的に減少傾向を続けています。しかし、今後さらにこの減少傾向を継続していくためには、自主的かつ組織的な安全衛生管理の推進が不可欠です。

このような背景から、労働安全衛生マネジメントシステム(TOHSMS)を2002年4月より導入し、グループ全社に展開しています。TOAグループがこの

厳しい経営環境のなかを生き残っていくためには、今後の安全衛生水準の維持、向上が不可欠であることを再認識し、労働安全衛生マネジメントシステムをさらに効果的に運用して継続的・組織的に労働災害防止に取り組みます。

Yes! Harmony

労働安全衛生方針

「安全をすべてに優先させる」を基本理念として、安全確保と健康を増進させるとともに、快適な職場環境を形成して社会に貢献する。

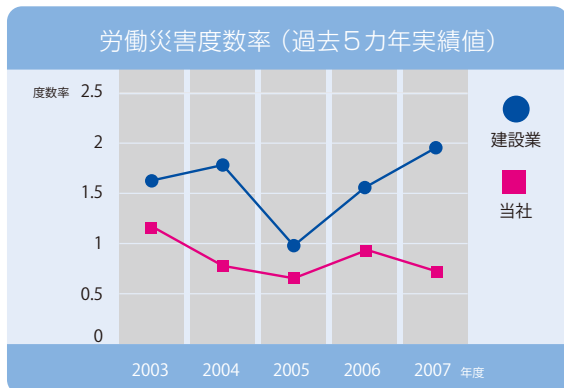
1. 労働安全衛生関係法令及び社内安全衛生管理規定を遵守する。
2. 労働安全衛生マネジメントシステムを活用し、日常の安全衛生推進活動を実行して労働災害、職業性疾病をなくす。
3. 健康管理を徹底して、社員及び作業者の健康を確保する。

この安全衛生方針は全社員に周知する。
社長 鈴木行雄 平成20年4月1日

東亜建設工業

■さらなる度数率低下を目指して

過去5カ年の労働災害度数率の当社実績値は、建設業全体の年平均値を下回って推移していますが、3カ年安全衛生計画の目標値0.60以下の達成に向け、さらなる努力を継続しています。



※労働災害度数率：延べ実労働時間100万時間当たりの労働災害による死傷者数の比率。この値が小さいほど、労働安全が保たれていることを示しています。

東亜建設工業・松村組 JV 第二東名高速道路大淵工事 「厚生労働大臣表彰 奨励賞」受賞

当社が代表者を務める第二東名高速道路大淵工事が、厚生労働省より2008年度の「厚生労働大臣奨励賞」を受賞しました。

厚生労働大臣表彰は、安全衛生成績が極めて高い水準に達し他の模範と認められる優良事業場に与えられるもので、本年度は、全産業で27事業場が表彰されました。建設業は7現場が対象となり、TOAグループとしては初めての受賞となります。

第二東名高速道路大淵工事では、「見える安全」「コミュニケーションを重視した安全」をキーワードに、地域住民に開かれた常時清潔な工事現場を目指し、約3年8カ月にわたる全工期中、無災害(60.1万時間)を達成しました。

今後も安全衛生の向上に努めるとともに、地域住民の方々と良好な関係を築きながら誠実な施工を続けてまいります。



作業環境改善による無事故・無災害達成

東京国際空港国際線地区エプロン誘導路地盤工事は、2007年7月～2008年3月の9カ月間行なわれました。この現場事務所に、休憩所ハウスを四角形に配置することで中庭空間を造形し、花壇、ウッドベンチ、花畑、木々のプリントシートを貼り、休憩時は癒しの空間として利用しました。

休憩所は総勢130名の作業員が利用するため、各会社、各作業班別に1棟ずつ割り当て、他のグループに気をつかうことなく自由に休息できるよう配慮しました。

上記の作業環境の改善により、短期間のうちに作業従事者1万3,000人、延べ労働時間11万時間無事故・無災害を達成しました。



休憩所ハウス全景



中庭空間の状況